

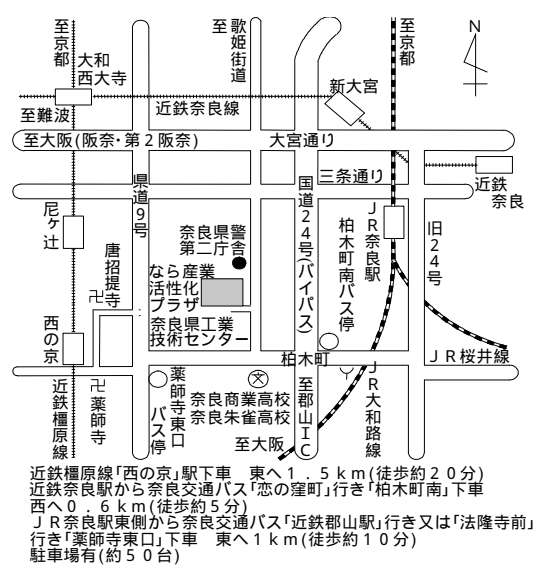
# 奈良県工業技術センター 研究発表会

【日 時】平成22年7月13日(火)10:00～15:00 (途中入退場可)  
 【場 所】奈良市柏木町129-1 なら産業活性化プラザ内  
 奈良県工業技術センター イベントホール  
 【参加費】無 料  
 【内 容】裏面のプログラムをご覧ください

奈良県工業技術センターでは日頃から様々な技術分野の研究開発に取り組んでいます。  
 この度、昨年度に当センターで実施しました研究開発についての発表会を開催致します。県内企業の皆様方の日常業務のご参考にして頂ければ幸いです。また、ものづくりオープンラボ事業<sup>(1)</sup>の成果を参画企業の方にご報告頂く時間も設けております。  
 県内企業の皆様方のご来場を心からお待ちいたしております。是非ご参加ください。

**ものづくりオープンラボ事業**: 事業化・製品化の見込みのある優れた研究開発テーマを持ちながら研究開発設備の整備などで課題を抱える県内中小企業製造業の皆様を対象に、当センターをはじめとする奈良県公設試験研究機関の保有設備機器を無償でご利用いただき、独自の研究開発を行うことができる事業です。なお、次年度分の公募につきましては、平成23年2月頃を予定しております。

【お申し込み方法】  
 HP、FAX又はEメールで前日までにお申し込み下さい。  
 ・ホームページでお申込される場合は次のURLから。  
[http://www.pref.nara.jp/dd\\_aspx\\_menuid-1751.htm](http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-1751.htm)  
 ・FAXの場合は、下記参加申込書でお申し込み下さい。  
 FAX宛先: 0742-34-6705  
 ・Eメールの場合は、貴社名、ご住所、ご出席者氏名、電話番号、FAX番号、Eメールアドレスをご記入の上、次の宛先にお申し込み下さい。  
 Eメール宛先: [kikaku-kogyo-tc@office.pref.nara.lg.jp](mailto:kikaku-kogyo-tc@office.pref.nara.lg.jp)  
 参加費は **無料** です。参加証等は発行していません。



【お問い合わせ先】奈良県工業技術センター  
 企画・交流支援チーム 西岡  
 〒630-8031 奈良市柏木町129-1 TEL 0742-33-0817

奈良県工業技術センター 企画・交流支援チーム宛 **研究発表会 参加申込書** [FAX送信票]  
 FAX 宛先: 0742-34-6705

貴社名			
ご住所	〒		
ご出席者	TEL	-	-
	FAX	-	-
	Eメール	@	

申込書ご記載内容について、個人情報を含む場合がありますので、弊所では適正な管理のもと、この事業実施に必要な事務、弊所主催・共催事業の案内、及び、弊所事業に関するアンケート依頼のみに利用し、かつ、ご本人の許可なく第三者に提供を致しません。

# 奈良県工業技術センター 研究発表会プログラム

【日時】平成22年7月13日(火) 10:00～15:00

【場所】奈良市柏木町 129-1 なら産業活性化プラザ内 奈良県工業技術センター イベントホール

発表時間が多少前後する場合がございますのでご注意ください

10:00	<b>所長挨拶</b>	奈良県工業技術センター所長 井ノ本 直三
[ 座長: 統括主任研究員 安田 則彦 ]		
10:05 10:25	<b>1. バイオ精製処理方法を用いた新規天然繊維の開発</b>	繊維・高分子技術チーム 主任研究員 辻坂 敏之
	これまでの研究において、プロトベクチナーゼを利用するバイオ精製処理方法によって、吉野葛澱粉採取後の廃棄葛根から紡績可能な新規天然繊維を得ることができました。 本研究では、これまでの方法に加えてセルラーゼ酵素を用いるバイオ精製処理方法、及び叩解機を用いる物理的な方法によって繊維をさらに細繊維化する方法について報告します。	
10:25 10:45	<b>2. カキポリフェノールの濃染化と光退色抑制</b>	繊維・高分子技術チーム 総括研究員 三木 靖浩
	カキポリフェノール(柿渋)を用いて常圧で綿布を濃染化するとともに、カキポリフェノールの紫外線による光退色について検討しましたので、その一部を報告します。	
10:45 11:05	<b>3. 有機 - 無機ハイブリッドフィルターの効果 ~ PS、PMMA の熱機械特性に対する影響 ~</b>	繊維・高分子技術チーム 主任研究員 足立 茂寛
	有機 - 無機ハイブリッド材料のひとつである「かご型シルセスキオキサン(POSS)」を PS、PMMA に加え、熱機械特性について調べました。POSS は置換基によって特性が変化する特徴を持っており、熱重量測定・動的粘弾性の測定結果から POSS の置換基効果について検討しました。	
11:05 11:25	<b>4. 生分解性プラスチックの物性向上と量産化技術の開発</b>	繊維・高分子技術チーム 主任技師 大江 和希
	ポリ乳酸の耐熱性及び成形加工性の向上を目指し、ポリ乳酸と数種類他樹脂との混合を検討し、新しいポリ乳酸系複合材料の開発に取り組みました。今回はその複合材料の柔軟性等、物性について報告します。	
11:25 11:45	<b>5. 昨年度ものづくりオープンラボ事業参画企業の成果発表</b>	
	・ 難燃性の優れたポリオレフィン系樹脂製床材の開発	住江奈良株式会社
	・ カキポリフェノール(柿渋)染色した綿生地耐光性と防水性の向上	株式会社クロスライン
<b>昼 休 憩</b>		
[ 座長: 統括主任研究員 松澤 一幸 ]		
13:00 13:20	<b>6. クズを利用した食品の開発について</b>	食品・毛皮革技術チーム 総括研究員 清水 浩美
	地域結集型研究開発プログラムとして、マメ科植物であるクズのイソフラボノイドを有効活用するための研究を平成 18 年 1 月から実施しています。今年度は、抽出方法に関する検討結果並びにクズの葉を利用した食品の開発について報告します。	
13:20 13:40	<b>7. 醤油・味噌の原形である「ひしお」の開発と商品化</b>	食品・毛皮革技術チーム 主任研究員 大橋 正孝
	平成 19 年 10 月に発足しました「ひしおの会」での活動の中で、醤油・味噌の原形である「ひしお(醬)」の再現を検討し、「古代ひしお」として商品化することができましたので、その概要を説明します。	
13:40 14:00	<b>8. 鹿革の利用拡大の検討について</b>	食品・毛皮革技術チーム 技師 辻本 絵理
	エステ用品等への利用拡大を図ることを目的とし、従来法でなめされた鹿革の再なめし法の検討を行い、エコレザーの基準を満たす成果が得られましたので報告します。	
[ 座長: 統括主任研究員 谷口 正 ]		
14:00 14:20	<b>9. 昨年度ものづくりオープンラボ事業参画企業の成果発表</b>	
	・ 超音波浮上ガイド用圧電素子の開発	リードテクノ株式会社
	・ チタン二次加工の高度化研究	東洋精密工業株式会社
14:20 14:40	<b>10. 機能強化 DLC 膜による機械部品の高度化研究 ~ 無潤滑下における DLC 膜同士の摩擦摩耗特性 ~</b>	機械・電子・情報技術チーム 総括研究員 浅野 誠
	Si 添加 DLC 膜、Ti 添加 DLC 膜、無添加 DLC 膜および未処理材をそれぞれ組み合わせた場合の無潤滑下における摩擦摩耗特性をボールオンディスク式摩擦摩耗試験法により調査した結果について報告します。	
14:40 15:00	<b>11. 小電力データ通信の EMC に関する実験調査</b>	機械・電子・情報技術チーム 主任研究員 林 達郎
	小電力データ通信の一例として IEEE802.15.4 規格による通信システムに着目し、無線 LAN との相互干渉実験を行った結果を報告します。また、併せて当センターで保有する電磁環境適合性(EMC)の試験設備を紹介いたします。	